

2020 年 7 月 27 日

関係者各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部長 宮部周作

ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、スポーツ庁が作成した「社会体育施設の再開に向けた感染防止予防ガイドライン：令和2年5月25日改訂」、公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が作成した「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン：令和2年5月29日改定」などを参考に作成しました。

ライフセービング競技、とりわけオーシャン競技は屋外で行う競技であるため、ある程度は「3つの密」を回避することができます。しかし競技種目の特性から密接が多い種目があり、競技会会場において局所的に人が集まる場面と、競技会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなります。新型コロナウイルス（COVID-19）の感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」の主に2つとされていますが、感染していても無症状の期間があり、自覚無く他人に感染させてしまうことと、ヒトの身体を離れても条件によって数日は感染性を有していることがあり、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを競技会会場に持ち込み、競技会がクラスターとなることは絶対に避けなければなりません。感染拡大を防ぎつつ競技会を開催するためには、ウイルスの感染経路を理解した上で、競技会に集う全ての人に協力を求めることと、丁寧に各局面の準備を行うことが大切です。そして何よりも、競技会には開催地となる行政や関係諸機関の理解と協力が必要不可欠です。地域住民と参加者、競技会関係者、全ての人々が安心して競技会を行うことができるよう、以下の点に注意して競技会準備を進めてまいります。

なお、スポーツイベントの実施に際しての新型コロナウイルス感染症への感染を防止するための方策については、必ずしも十分な科学的な知見が集積されている訳ではありません。このため、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得ることに御留意をお願いします。また、本ガイドラインはライフセービング競技における「オーシャン競技」を想定したものであり、「プール競技」には該当しませんのでご注意ください。プール競技会におけるガイドラインは追って公表いたします。

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部
info@jla.or.jp

